

1. 教育目標

精神障害の病態と治療において未解決の課題をたてる。

基礎医学研究は精神科の臨床に関連する課題を選び、方法と手段を習得する。

臨床研究は継続性を求められるが臨床に役立つ結果を出す。

これらの成果は学会で発表し学術誌上で論文とすることを目標とする。

2. 到達目標

- (1) 研究課題を見出すことができる。
- (2) 先行研究を調べその課題が現時点でどのように明らかにされているか理解できる。
- (3) 研究計画を立案することができる。
- (4) 研究の手法を理解し使用できる。
- (5) 研究成果の評価ができ、説明や論文として作成する方法を修得する。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う

発表や討議の内容(20%)、臨床カンファでの発表(20%)、学会における研究成果の発表(30%)、課題に関する論文作成(その過程を含む)(30%)

4. 教科書・参考書

国内外の英文トップジャーナルを参考とする。

5. 準備学習

予習として、自らの課題に関する関連文献を検索し、スライドなどに知識を整理し授業や討議に臨むこと。
(約1時間)

復習としては、講義内容や討議事項を整理しておくこと。(30分)

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は、「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【神経精神医学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	精神症状測定の実論と実際	松永主任教授 山田講師	月曜/1限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	器質症状性精神障害の診断と治療	宇和講師 西井助教	火曜/4.5限	通年	4	研究室
演習	外国文献抄読 ケーススタディ (精神疾患・神経疾患)	松永主任教授 林田臨床講師	水曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	ストレスに対する免疫学的アプローチ	清野講師 西井助教	金曜/3.4限	通年	4	研究室

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	器質症状性精神障害の診断と治療	清野講師 宇和講師	火曜/6.7限	通年	4	研究室
演習	精神症状測定の実論と実際	西井助教 向井助教	水曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
演習	外国文献抄読 ケーススタディ (精神疾患・神経疾患)	松永主任教授 山田講師	水曜/7限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	ストレスに対する免疫学的アプローチ	松永主任教授 林田臨床講師	金曜/6.7限	通年	4	研究室

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	精神疾患の画像解析	山田講師 向井助教	月曜/4.5限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	老年期痴呆疾患の画像診断法	宇和講師 西井助教	火曜/3限	半年	2	カンファレンスルーム
講義	精神科薬物動態学	清野講師 吉村助教	水曜/1限	半年	2	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	精神疾患に対する生物学的アプローチ	松永主任教授 林田臨床講師	木曜/4.5限	通年	4	研究室

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
実験 (臨床) 研究	精神疾患に対する生物学的アプローチ	松永主任教授 吉村助教	月曜/6.7限	通年	4	研究室
講義	精神科薬物動態学	山田講師 宇和講師	火曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	高齢者薬物療法において血中濃度を測定し解析モニタリングする	宇和講師 山西助教	水曜/6.7限	半年	2	研究室
実験 (臨床) 研究	精神疾患の画像解析	清野講師 向井助教	金曜/6.7限	半年	2	カンファレンスルーム